

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記12の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR19020
1 研究課題名	巨大卵巣嚢腫における腹腔鏡補助下卵巣嚢腫摘出術（LAC）の有効性
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 婦人科 医師 大井手 志保 研究分担者 婦人科 医師 山田 昌代 子安 保喜
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2019年12月31日 情報等調査期間 開始：2008年1月1日 ～ 終了：2019年5月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	卵巣嚢腫は臍部を超え上腹部に占拠する状態になって発見されることがあり、10代後半～20代前半の若い女性にみられることも多い。かつては開腹手術がなされることも多く、臍部に至る大きな開腹創部は身体的・美容的に侵襲性の高い術式である。当院はかねてより腹腔鏡補助下卵巣嚢腫摘出術（Laparoscopically assisted cystectomy, LAC）に対応している。腹腔鏡下で卵巣嚢腫をサンドバルーンカテーテルで穿刺吸引し、体内における嚢腫の縮小と内容液漏出を限りなく抑え、縮小した卵巣を小切開創部から体外へ牽引し、直視下・触診しながら嚢腫摘出を行う方法である。当院で腹腔鏡補助下卵巣嚢腫摘出術を施行した症例のうち、卵巣嚢腫上端の高さが岬角付近の症例（岬角群）、臍より上腹部に至る症例（巨大卵巣嚢腫群）において、大きさ（嚢腫径と嚢瘍内容量）、手術時間、出血量、組織型を比較した。
5 研究の対象 となる方	2008年1月1日から2019年5月31日まで当院で腹腔鏡補助下卵巣嚢腫摘出術を受けた方
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	上記4に示します
7 研究に用いる試料・ 情報の種類（項目）	年齢、身長、体重、既往歴、妊娠歴、術前症状、MRI結果、病理結果、術前術後の血液検査、手術記録、手術出血量、手術時間、術後合併症
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記2と同じ者
9 試料・情報の 管理責任者	上記2に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記12のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記12のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先：四谷メディカルキューブウィメンズセンター婦人科 大井手 志保 住所：〒102-0084 東京都千代田区二番町7-7 電話：03-3261-0414（代表） FAX：03-3261-0415

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。

